



謹賀新年

クッル サ ワ アントゥム ビハイル.

キューフハールク?アナタマーム!

新年、明けましておめでとうございます。

去年は、実家の熊本に帰省していたため、日本で新年を迎えましたが、2018年はUAEで初めて新年を迎えております。2017年は、皆様のご協力の下、UAE柔道の発展に向け活動することができました。2016年以前では獲得することが出来なかった世界大会で銀メダル、更に国際大会でも金メダル2つと前回よりも良い結果を得ることができました。2018年は、更なる柔道発展と選手レベルの向上を目標に精一杯尽くしてまいります。

SANIX International Judo Camp & Championship 2017

先日12月22日～29日、サニックス旗福岡国際中学生柔道大会 (SANIX International Juvenile Judo Team Championship in Fukuoka) へ参加しました。今回で二回目の参加となります。昨年は計13人と大人数での参加で、夜も寝れぬ日々が続きましたが、今年は違いました。今回はサニックス旗についてお話いたします。

— 出来事 —

- 2月に行われるグランドスラム・デュッセルドルフに参加予定です。

今月のアラビア語

「クッル サ ワ アンタ ビ
ハイル

クッル サ ワ アンティ ビ
ハイル」

意味: 明けましておめでとうございます。

先攻: 男性、後攻: 女性

شكرا

シユクラン日記

1月号
2018年

今回も株式会社サニックスのご厚意により、本大会へご招待していただきました。昨年は、選抜した選手とは違う選手、更に人数が増えたこともあり、私の目が届かずトラブルが多発してしまいました。私自身、新入りでもあったため、選手の事をよく知らなかったのも原因の一つでありました。今回は、UAEの各クラブへ行き選手・コーチとよく話し、選抜しました。日本国内で行うスカウトはこんな感じなのでしょうか。スカウトマンになった気もしました。2017年最後の合宿ということで、日本で世話になっている先生方に成長した生徒を見ていただきたいという気持ちで挑みました。



今年の大会の参加人数は1000人程となり、昨年同様、盛大に行われておりました。UAEから2チーム、世界各国からも合計11チーム参加し、国際的にも大きな大会となりました。

大会初日は、国際チームと合同練習を行いました。海外チームとペアを組み、UAEではあり得ないほどの数の打ち込み、投げ込み、乱取りを熟しました。私は去年同様、途中でリタイヤする選手が出てくると思っていました。去年は、ウォーミングアップ後の打ち込みの時点で集中力が切れ、乱取り時に座り込む選手が続出しました。しかし今年は違いました。選手自ら相手に走っていき練習をしていました。休む選手はゼロ。「水を飲みたい」「ここが痛い、あそこが痛い」という選手もいなかったことに嬉しさを

感じております。練習後に、息を切らせながら「楽しい、もっとやりたい」と聞いたときには連れてきて良かったと思えました。

午後は、釘崎先生と甲斐先生の柔道教室でした。先生方の切れのある技に海外選手は驚くばかり、目がキラキラしていました。UAEの選手からは「何Kg級の日本代表の選手なのか？」という質問もありました。先生方のデモンストレーションの後、釘崎先生・甲斐先生に技を見てもらいたいから通訳してくれ、言う生徒もおりました。勿論、喜んで先生方の下へ行き、ご指導いただきました。大変幸せに感じております。



二日目、ゲストの先生方が3人来られました。その先生方とは、朝飛大先生、田知本愛先輩、田知本遥さんの3方でした。前日に釘崎先生より話を聞いた時、とてもワクワクしました。当日、練習場で朝飛先生に挨拶させていただきました。朝飛先生とは柔道教育ソリダリティーコーチングセミナー2015の時に初めてお会いし、大変お世話になりました。朝飛道場での先生のご指導を拝見し、強く感銘を受けた思い出があります。先生と畳に上がり、丁度目の前で打ち込みをしていた私の選手が居たので紹介させていただきました。すると朝飛先生より、「だからか、なんか打ち込みが上手いと思ったんだよ」と言っていただきました。嬉しかったです。選手が勝つことも嬉しいですが、選手を褒めていただくことが一番やり甲斐ありますよね。

次に田知本姉妹です。久しぶりに2人にお会いしました。お姉さんの田知本愛先輩(+78Kg級)は、東海大学の先輩で練習でも稽古をつけていただき、試合にも付き添うなど多く貴重な経験をさせていただきました。付き人として行った2016年のグランドスラム・パリでは、優勝する姿を見てとても嬉しく感じました。妹の田知本遥先生(-70Kg級)とは東海大学時代の同級生です。記憶にも新しい、2016年のリオ五輪チャンピオンです。リオ五輪で優勝した時はデンマークで見えていましたが、嬉しかったです。直ぐにリオにいた愛先輩に電話しました。田知本姉妹とは一年半ぶりの再開となりました。再会して早々に「今日は受けよろしくね!」と笑顔で言われ、久しぶりの再会の余韻に浸りたい気持ちはありましたが、素晴らしい笑顔に、勿論喜んでお受けしました。



デモンストレーションが始まり、田知本姉妹の鋭く繊細な技、一本一本投げるたびに大きな歓声と拍手が起こりました。

写真を見ていただくとお分かりいただけますように、カメラの連写でさえ追えないほどのスピードでした。一年半ぶりに受けましたが、やはり凄いですね。

心技体が一本一本の技に込められており、私はその一本一本の技を身に染み込ませながら受けました。一つだけ問題があるとすれば、私の体重が以前よりも増え、思いのほか動けなかったということです。今年の夏までに体重を戻さないと駄目だと痛感しております。この時に、私の2018年最大の目標が「ダイエット」と決まりました。海外選手が質問に来る度、田知本姉妹が真剣に受け答えをする姿を目にし、改めてトップ選手の器の大きさに感銘を受けました。柔道教室が終わり、全体とチームの写真撮影も行い、選手らは大変満足げな顔をしていました。

大学の頃には、普段から周りにチャンピオンが沢山居た為、感じる事ができませんでしたが、素晴らしい環境で柔道をしていたのだと改めて実感しました。そう感じたことで、背中に感じる看板の重さ、「最高の環境で学んだのだ」という自信と「2017年もっとやれたのじゃないか」という悔しさが現れました。



今回、こうして世界トップ選手の技を受けることができる喜びと、今年も、生徒に柔道という道を伝授していきたいと感じております。また、UAE選手に間近で日本柔道選手の姿を見せることができ

たことに喜びを感じております。

柔道大会当日、大会結果報告

今大会は、5人制の団体戦です。

一回戦は宇美東中学校（福岡県）との対戦となりました。この対戦は、相手の参加が無かったため不戦勝となり、無事に一回戦突破。



二回戦は守山中学校（滋賀県）との対戦となりました。相手メンバーを見たところ体重が同じぐらいでしたので、対戦を楽しみにしていました。オーダーを終え、試合場でお互いのメンバーが発表されました。私のチームは軽量級から順に先鋒から大将へ、相手チームは重量級から順に並べられていました。軽い順に並べてくるだろうという私の予想は外れました。試合が始まり、UAEチームの先鋒は42Kg級の選手です。相手選手は66Kg級の選手でした。UAEの選手は、自分より重い選手とやる経験が全くなく、自分より一回り大きい相手を目の前にし、口が空いていました。結果、10秒ほどで負けてしまいました。次鋒は48Kg級の選手です。彼の相手も一回り大きい80Kgの選手でした。逃げ腰で技を掛け、つぶれたところを軽くひっくり返され抑え込まれました。中堅は50Kg級の選手です。彼は気が強く、いつも1つ2つ上の階級と練習をやっていました。しかし、今回の相手は更に重い80Kgの選手でした。彼は逃げることなく動き攻めていきました。1分30が経過したところ、相手の大外刈りが豪快に決まり一本負けをしました。軽いUAEの選手は宙

に舞いました。とても惜しかったです。次に副将(66Kg級)と大将(80Kg)の相手は二人とも50Kgほどでしたので、お互いに苦戦せず一本勝ち。結果、2対3でUAEは2回戦敗退をしてしまいました。あと一步で一勝を彼らに与えることができます！去年は見事に全員宙を舞い、チームで秒殺されてしまいました。今回の大会では、その日本のチームにあと一步で勝利できるということが彼らの自信に繋がったのではないかと感じております。

今回の大会で、選手が確実に成長していることを確認することができました。UAE国内では見ることでできない表情や彼らの活動など、今回は余裕をもって見る事ができたと感じております。

昨年は、毎晩のようにトラブルが続き、深夜に選手棟と監督棟の往復、毎日3時就寝の6時起床などハードな二週間でした。しかし、今年は大きなトラブル無し、更に深夜0時前就寝の7時30分起床ができました。これもまた一つの成長と言えると思っています。2018年、驕ることなく更なる柔道の普及発展を目指していきたいと思っています。



最後に、大会当日、在日アラブ首長国連邦大使館より外交官が来ていただきました。UAEナショナルチームが来るということで、この日の為に東京から福岡県宗像市まで足を運んでいただきました。これからも益々日本との交流ができていければと思っています。

(UAE柔道連盟 原口直也)